

『カメムシ注意報！防除の徹底を』

岡山県病害虫防除所より、8月2日に水稲への斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等）の発生予察注意報が発表されました。7月1日にも果樹カメムシ類の発生予察注意報が発表されており、本年は気温が高くカメムシの加害や増殖に好適な条件となっております。今回はアカスジカスミカメ等の注意報ですが、JA 営農指導員による現地巡回では近年問題になっているイネカメムシ（図1）も多く見られています。



図1：イネカメムシ

1. カメムシの被害

出穂後、籾の中でデンプンが固まるまでがカメムシ被害に遭う時期です。汁を吸われた玄米は斑点米という症状を発生させます。（図2）



図2：カメムシによる斑点米

斑点米は玄米に黒いシミが出来た症状です。精米しても残り見栄えが悪くなり、農産物検査では等級が下がる大きな原因になります。

2. 早生品種について

あきたこまち や コシヒカリ等の早生品種では、本年は田植え後の気温が高く推移し、生育が早まり一週間早く出穂している地区もありますが、例年ではこの時期が出穂期なので、出穂期防除を必ず行い、必要なら殺虫剤単剤での防除も行いましょう。

3. 中生・晩生品種について

出穂前後2週間の畦畔の草刈りは、田んぼの中へカメムシを追いやることになるので、早めに草刈りは行いましょう。きぬむすめ や ヒノヒカリについては現在 幼穂形成期を迎えておりますので、出穂前後の防除を必ず行いましょう。

カメムシ類に登録のある農薬

	商品名	10a当り使用量	使用時期	使用回数	使用方法
殺虫殺菌剤	イッカツエース粉剤DL	3～4kg	穂揃期まで	2回以内	散布
	ハスラーRX粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシンジョーカー粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで	2回以内	散布
	トライトレボン粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシンジョーカーフロアブル	1000倍60～150%	収穫14日前まで	2回以内	散布
	ブラシントレバリダ水和剤	500倍60～150%	収穫14日前まで	2回以内	散布
殺虫剤	トレボン粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで	3回以内	散布
	スタークル粉剤DL・アルバリン粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	3回以内	散布
	トレボン乳剤	2000倍60～150%	収穫14日前まで	3回以内	散布
	スタークル顆粒水溶剤・アルバリン顆粒水溶剤	2000倍60～150%	収穫7日前まで	3回以内	散布
	スタークル粒剤・アルバリン粒剤	3kg	収穫7日前まで	3回以内	散布
	エクシードフロアブル	2000倍60～150%	収穫7日前まで	3回以内	散布

※農薬の在庫は、各支店・資材店へお問い合わせ下さい。